

## 【ICT を活用した教育実践】

### 国際関係学部 1 年次英語科目（英語 I：フレッシュマンイングリッシュ）

#### e-learning を用いた英語指導について

千波玲子

#### 1. はじめに

全学部の 1 年生が履修する必修科目『フレッシュマンイングリッシュ（英語 I）』（前期）は、1 日 45 分、週 5 回という形態で実施されている。国際関係学部では週 4 日をネイティブ教員が担当し、週 1 日を日本人教員が e-learning を取り入れた指導をしている。ネイティブ教員の特性を生かし、週 4 日の指導内容はスピーキング・リスニングを中心とし、加えて TOEIC 対策用の演習も行っている。日本人教員が担当している部分はアルク社の NetAcademy2 の「スーパースタANDARDコース」を利用して、e-learning を用いたリーディング中心の指導を行っている。

ネイティブ教員のクラスでは学生の発話を促すことを主眼としているため、教材内容は比較的平易なものを用いている。それを補完する目的も含めて、日本人教員が使用する教材は多少レベルの高いものを取り入れている。レベルにより指導内容は異なるが、ここでは日本人教員が担当している上位クラスを紹介する。

#### 2. 日本人教員担当部分の指導内容の詳細

「スーパースタANDARDコース」はリスニングとリーディングに分かれており、それぞれが 5 レベル（各レベル 10 ユニット、合計 50 ユニット）で構成されている。学生は前期中にリスニングは 20 ユニット、リーディングは 10 ユニットの終了するという授業計画である。

##### 1) リスニング

リスニングは各自が「スーパースタANDARDコース」に含まれている「レベル診断テスト」を受験し、それによって示されたレベルと一つ上のレベルの合わせて 20 ユニットの各自が自習する形で進めていく。それぞれのユニットにはポイントが設定されており、成績評価の一部はそのポイントの合計による。

##### 2) リーディング

リーディングは「レベル診断テスト」の結果にかかわらず全員が同じユニットを学習する。プログラムに含まれている練習問題に加え、各ユニットに関して教員が独自に作成した小テスト（2 点 X 5 = 10 点）を毎回クラスで亜大ポータルを通して配信する。学生はそれを受験し、そのスコアが成績評価の一部となる。

小テストの配信時間は各クラスの開始 10 分前から開始後 20 分までの 30 分間のみとし、学生はその間に問題をダウンロードし、解答を打ち込み印刷して提出するというシステムである。従って 20 分以上遅刻した場合は小テストの受験は出来ずその回は 0 点となる。

## 【ICT を活用した教育実践】

下記にリーディングで使用しているユニットのトピックと、小テストの例を示す。

一次エネルギーの変遷  
フロンとオゾンホール  
ツーリズムの発展  
インド IT 産業の未来  
経済理論と現実の乖離  
授業で進化論を教える是非が問われる  
セブンイレブンの成長  
企業のテロ対策  
米ソ冷戦下、互いの潜水艦の追尾で熱い戦い  
出獄者に対する選挙権の制限

リーディング例：『授業で進化論を教える是非が問われる』

In 1925, the arrest of a high school teacher in Dayton, Tennessee, named John Scopes became an epoch-making incident. The teacher tutored his students in the theory of evolution, in violation of a state law passed in the same year that declared that all schools must teach only the "divine creation of man" as taught in the Bible. Scopes' subsequent eight-day trial started a dispute between followers of science and religion and became known as the "Monkey Trial." The trial lasted just a week because the judge limited its scope to the question of whether the 24-year-old teacher had indeed taught the theory of evolution. The judge refused to allow arguments over whether rules in the Constitution should apply to the trial and whether Darwin's theory should be discussed at the trial. Scopes was found guilty and fined 100 dollars. After the result of the trial was read, Scopes said he would "continue to oppose the law in any way I can. Any other action would be in violation of my ideal of academic freedom." The state's Supreme Court forgave him due to technical aspects of the law two years later.

小テスト例 ( ) は解答サンプル

1. According to the state law, what should have been taught at school in Tennessee in 1925?  
(*The "divine creation of man" as taught in the Bible should have been taught.*)
2. Who were the two opposing groups of people that confronted each other over the issue?  
(*They were followers of science and those of religion.*)
3. What did the judge focus on?  
(*The judge focused on the question of whether the teacher had indeed taught the theory of evolution.*)
4. What did Scopes probably believe?  
(*He probably believed science and the theory of evolution.*)
5. What happened to Scopes two years later?  
(*He was forgiven due to technical aspects of the law.*)

### 3. 指導上の観点

#### 1) システマティックな指導による学習習慣の形成

毎回小テストが配信される時間帯が設定されているため、学生は必ずその時間帯に受験し解答を提出する必要がある。従って遅刻あるいは欠席をするとその回のテストは受験出来ずに無得点となるため、多くの学生は授業開始前に教室に来るようになる。またリーディングの内容は予習を必要とするレベルであることも学生の学習習慣を形成するには有効である。

## 【ICT を活用した教育実践】

さらに英問英答という形式をとっているため、学生は英文をタイプで打ち込む必要があり、タイピングに慣れていない学生にとってはその練習にもなっている。教員がモニターで観察していると、1年次ということもありタイピングのスピードが遅い学生が多いことが確認出来ている。解答は学生の小テストの終了状況を確認し、全員が終了した時点でサンプルを表示する形をとり、テストは返却していない

### 2) 進捗状況の周知による自己責任による学習態度の涵養

リスニングに関しては、全面的に自己責任による学習が必要となっている。そのため毎週のクラスで各自の進捗状況をモニターで知らせることにより、学生の自習を促すようにしている。リーディングに関しても、小テストに加えて10ユニット分の学習が必要なため、合わせて毎回下記のようなチャートをクラスで提示している。

＜進捗状況の表示の例＞（学期終了間近、7月中旬時点のもの）

Student	R level	R points	L level	L points	%
A	5	2239	4	3103	56%
B	5	281	3	3078	36%
C	5	5135	4	2610	81%
D	5	7672	4	4106	124%
E	5	3093	3	4867	84%
F	5	646	4	147	8%
G	5	4059	4	3232	77%
H	5	5168	4	2321	79%
I	5	5547	3	1295	73%
J	5	5345	4	1677	74%
K	5	4042	5	4293	87%
L	5	3115	4	2783	62%
M	5	1993	3	3528	59%
N	5	3912	4	854	50%

＊リーディングは全ての学生が同じユニットを学習するので同じレベルとなり、リスニングに関しては「レベル診断テスト」によるので、レベル3～5となっている。それぞれの学習を完全に完璧（100%の正答率）に終了したポイントを分母、学生が取得したポイントを分子として計算した比率を示したものである。

### 4. まとめ

リーディングの小テストの解答時間に制限が設けられているため、学生は集中して問題を考え、解答を打ち込む必要がある。レベル的にもかなり難しい英文ということもあり、45分のクラスの

### 【ICT を活用した教育実践】

ほとんどをこの作業に費やすことになる。従ってコースにあらかじめ含まれている e-learning の学習はほぼ自習となる。そのため毎週その進捗状況を周知することによって、学生自身が各自のペースで進められるようになることを目指している。学期が進むに従って個人差が出てくるが、進捗状況を提示することによって自覚を促し、遅れている場合は各自が努力することを目指している。課題とされているユニットを終了するのに必要な総時間数は 10～15 時間程度であり、計画的に学習を進めていればそれほど負担になる量ではないと考える。ただし学生によっては学期終了直前にまとめて学習しているようなケースも散見される。

教員の役割としては小テストの作成、配信、採点（補助あり）、データの更新と配信などである。最終的な成績評価は小テストの得点およびリスニング・リーディングのポイントの合計で算出しているが、多くの学生は 70%以上の成績を取得している。

Net Academy2 はスマートフォンでは使用できないソフトであり、PC が自宅にない学生は大学で学習する必要がある。スマートフォンでの学習に対応した新しいソフトが発売されているが、現在のソフトは 2020 年までサポートがあるという状況のため、その購入の可能性は現在のところまだ検討されていない。